

ふれあい記録

実施日：2024年12月12日

当番者名 熊谷信雄・江口正彦

コース名：赤ぼっこ

(通し番号 第201回)

天 候：晴れ

参加者名： 相川 勲、石井 公子、江口 正彦、神谷 順子、熊谷 信雄、新海 昭、田中 宏巳
鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、細矢 清志、宮原 宏至、和田 龍子
<ビジター>笠井 欣三、野口 和夫
計 15名 (内、男性11名 女性4名) (五十音順)

交通(時刻)：金沢文庫駅 6:05 発 ⇒ 6:30 着 京急川崎駅 ⇒ 歩く ⇒ J R 川崎駅 6:44 発 ⇒
7:44 着 立川駅 7:56 発 ⇒ 8:31 着 青梅駅 8:37 発 ⇒ 8:40 着 宮ノ平駅

コースタイム(時刻)：

宮ノ平駅 9:00 → 8:24 登山口 8:28 → 10:25 要害山 10:28 → 11:10 赤ぼっこ(昼食)
11:53 → 12:09 馬引き峠 12:12 → 12:41 旧二ツ塚峠 12:50 → 13:14 東屋 13:18
→ 13:31 大祖神社 13:53 → 14:24 青梅駅

みどころ：

- ・調布橋からの多摩川の風景
- ・途中白山社脇の展望地からは、大山と丹沢山塊を見ることが出来た。
- ・赤ぼっこ山頂からは、筑波山と関東平野、都心方面スカイツリー他都心のビル群、奥多摩方面の大岳山、川苔山、高水三山、日の出山、青梅丘陵と西武ドームなどを眺めることが出来た。男体山、白根山などは雪雲などがあり見られ無かった。
- ・赤ぼっこの一本木(シンボルツリー)
- ・天祖神社：長淵天祖神社の創建年代等は不詳ながら、神明大神宮と称して長淵村の鎮守社だったといえます。明治6年村社に列格、明治9年天祖神社と改称したといえます。

自然観察：

- ・登り口、東屋付近、天祖神社のモミジの紅葉が見られた。
- ・展望地から赤ぼっこへの道脇には多くのヤブコウジが赤い実を付けていた。
- ・南天の木に赤い実がたわわに付けていた。
- ・青梅駅に向かう多摩川縁の黄葉した大きな銀杏の木が素晴しかった。

特記事項：

- ・今年一番の寒さでしたが、晴天で陽射しがあり、歩行中は着衣を減らすほどでした。但し赤ぼっこ山頂は6℃風もあり寒く、陽だまりを選び昼食をとった。
- ・「赤ぼっこと言う名称の由来は」、1923年に発生した関東大震災により、この付近の山の表土が崩れ落ち、赤土が露出した姿になったことからこの名がつけられました。現在はすでに植生が回復しており、赤土が露出したりはしておりませんが、杉林が広く伐採されて好展望地となっています。
- ・皆さんの協力のため計画より約30分早く青梅駅にゴールできた。